ＳＡＫ２０２２年度　車山Ⅲ行事

公認スキー準指導員検定会　(SAK２０２２年度分)

公認スキーB・C級　公認検定員検定会　(SAK２０２２年度分)

スキープライズテスト　(SAK２０２２年度分)

主催　　公益財団法人　全日本スキー連盟
主管　　公益財団法人　神奈川県スキー連盟

期日　　2023年2月18日(土)～19日(日)
会場　　長野県　車山高原 SKYPARK スキー場
本部　　車山高原スカイパークホテル

上記、日程で2検定会とクラウン・テクニカルプライズテストが行われました。
天候は1日目午前中は、晴れたり曇ったりという天気の中、検定が始まりました。午後になると雲が厚くなり、ちらちらと雪が降る天候の中で行われました。夜から雨になり、その雨が2日目も朝から雨が降り続き、準指導員検定2種目とプライズテスト4種目は雨の中、ずぶ濡れになりながらの実施でした。
気温は高めでアイスバーンではなかったのですが、2日目の雨は少し雪を重たくしていました。

今回も昨年に続き、新型コロナの感染の心配を受け、開会式、閉会式は、取り止め、各受験者は、感染防止のため、健康チェックシートの提出、検温を実施して受付をしました。受付は、17日(金)は車山スカイパークホテル内で20時30分から21時30分、18日(土)はスカイシティ1階にて7時30分から8時30分に分けて行われました。
開会式、閉会式を行わない代わりに公益財団法人神奈川県スキー連盟片会長と車山 SKYPARK スキー場平山支配人様より書面にてメッセージを頂きました。

１７日(金)夜の受付

１８日(土)朝の受付

車山Ⅲ行事　参加役員代表　及び　地元関係者代表　ご挨拶

開会の挨拶

（公・財）神奈川県スキー連盟　会長　片忠夫

今年はインバウンド復活の年といわれ、6月頃には外国人、5 千万人位が日本へ来るとの見通しです。日本経済は活気を取り戻せるかが大きな鍵となります。かかる状況下日本の検定制度が、緒外国から脚光を浴びている中で SAK 主管の準検、テク・クラ、B、C検定員検定がスタートします。

主催する側としては当然全員合格を願い、公平、公正を目指します。更には着眼点の key word である技術の「到達度」「習熟度」「完成度」をみさせてもらい、資格にふさわしい技術レベルの判定を行います。
役員一同〝一陽来復〟今を喜ぶ笑顔が次の幸せを連れてくる…。で、良い検定会をめざします。

閉会の挨拶

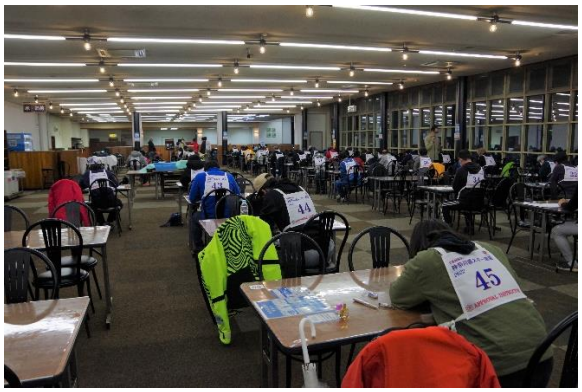
車山高原 SKYPARK スキー場　支配人　平山恒一　様

この 2 日間にわたる検定会お疲れ様でした。
今シーズンは雪も少なく、思うようなコース作りもできず大変心配しておりましたが神奈川県スキー連盟様のご配慮のおかげをもちまして、無事検定会を終えることができ大変うれしく思っております。

検定会で合格された方、残念ながら合格に至らなかった方もスキーの楽しさを忘れる事なく、次のステップに進んでいって下さい。まだシーズンが残っていますので是非車山高原 SKY PARK スキー場をご利用頂きます様心からお待ち申し上げております。

最後になりますが、検定会ご参加の方々、サポートの皆様、また神奈川県スキー連盟の皆様の益々のご活躍を祈念しまして、御礼の挨拶とさせて頂きます。

準指導員検定とB、C級理論検定は、
18日(土)19時よりスカイプラザ2階にて行われました。



準指導員理論検定

B･C級理論検定。

準指導員検定、B･C 級検定員検定の発表は、ホームページ上での発表となり、合格証は、郵送ということになりました。

テクニカル･クラウンプライズテストのみ、受験人数も少ないということもあり、スカイシティ1階にて結果発表の成績を貼り出し、テクニカル、クラウンプライズとも合格者各1名に合格証を授与致しました。その後、主任検定員より講評が受験者に向けてありました。

主任検定員よりの講評

合格

おめでとう

クラウンプライズ合格者

テクニカルプライズ合格者

※上記、合格者2名及び、講評を聞かれている方々より、写真掲載の許可を得ています。

各検定受験者数と合格者数は、下記のとおりです。

○準指導員検定　受講者47名(申込者51名)　合格者21名
合格率、対申込者数で41.2%　対出走47名で44.7%

○認定指導者検定　今回受験者は居りませんでした。

○B･C 級検定員検定　B 級受験者　6名　合格者　6名　合格率100%
C 級受験者12名　合格者11名　合格率　92%

○テクニカルプライズテスト　受験者12名　合格者　1名
○クラウンプライズテスト　受験者　5名　合格者　1名

以上の結果でした。

受験された皆様、各検定員、関係役員の皆様、お疲れ様でした。

準指導員検定会の主任講評（総評）

例年に比べ、比較的レベルが高かった様に思います。外スキーへの働きかけが明確に見られる滑りが多かったです。
ただ、全般的にターンの仕上げで横方向や山方向に切り上げてしまい、落下方向に移動方向が取れない滑りも多かったようにも思いました。

テクニカル・クラウンプライズ主任検定員総評

今回は降雨・霧のため非常に難しい状況でした。
総合滑降時は、特に霧が濃く斜面も見えにくい状況の中、演技をしてもらいポジションをキープするのが難しかったと思います。
スポーツマンで行った小回り、大回りについてはコート上部と下部で雪質が大きく異なり、スキー操作を安定させるのが難しい状況でした。
その中で、合格点に達していた方はポジションをセンターにキープしてスキー操作を行うことができていました。合格点に達していない方は、切り替え時にポジションを乱し、真上に立ち上がってしまうなどでその後のエッジングが浅かったり、ターン後半にエッジングが集中してしまうことでスキーが必要以上にズレてしまってました。
ポジションは基本中の基本中。
再度、基本を見直して練習することで、実践的な滑りに生かしていけるようにするといいですね。足首の使い方や体の運ぶ方向などを見直すことで、ターン前半からスキーのトップで雪面をとらえ、深いエッジングができるポジションを見つけることができると思います。

BC 級検定員検定の講評

検定種目の内容を理解し、それがしっかりと表現できているかを見ていただく必要があります。
合否だけの採点ではなく、受験者の良い滑りにはしっかりと点数をつけていただきたいと思います。

1. プルークボーゲンの評価の観点について
   両スキーのインエッジを常に保持している事。
   しっかりとセンターポジションをキープし、バランスよく左右差のないスキー操作が行われているか。
2. 基礎パラレルターン（小回り）の評価の観点について
   スタートからゴールまで、ターンサイズの変化なく、カービングとズレの要素をバランスよく使って等速で滑っているか。
   ストレッチングでの切りかえ動作が適切に行われているか。
3. シュテムターンの評価の観点について
   ターンの早い段階でカービングでの舵取りを行うため、適切なスピードで操作できているか。
   スムーズなシュテム動作が可能なポジショニングと回転弧のコントロール。

検定会を終えて

雪不足で始まった SAK 2022 年度シーズンですが、2023 年 2 月 18 日 19 日の 2 日間で、公認スキー準指導員検定会・BC 級検定員検定会・プライズテストが行われました。受験者の皆さま大変お疲れ様でした。
このシーズンの挑戦や取り組みに対し、役員一同心より敬意を表したいと思います。

この 3 年はコロナ禍での開催となり、中止や変則事業を余儀なくされてきましたが、今シーズンは何とかすべての養成講習会を実施し、検定会当日を迎えることができました。受験者の皆さまにとりましても、ご家族・職場関係・クラブ・友人多くのサポートの方々のご理解と協力なしには、当日を迎えることはできなかったのではないかと思います。感謝の気持ちを忘れず今後の活動に繋げていただければと思います。
今回 21 名の新たな指導者、18 名の B 及び C 級検定員、2 名のプライズ保持者が誕生しました。合格された方々につきましては、今後のクラブ・協会での指導・後輩の育成等の普及活動に生かしていただければと思います。
残念ながら不合格となった方につきましても、どうかこの取り組みを継続いただき、来シーズンの目標としていただければ幸いです。
それぞれ、様々な思いが残る検定会であったと思いますが、このスキースポーツを通じ、多くの仲間と出会えたこと、今シーズンの貴重な経験と財産を大切にしていただき、今後もスノースポーツに限らず、あらゆることに挑戦していただきたいと願います。
最後になりますが、検定会場をご提供いただきました車山高原 SKYPARK スキー場関係者様、受験者の皆さま、協会関係者及びサポートの方々、そして検定会に携わりました県連役員の各皆様に感謝申し上げます。

教育本部長　中村　浩人

準指導員検定の検定員の方々

B、C 級検定受講の方々の協力で雪面を平らに

横滑り

シュテムターン

基礎パラ小回り

滑走プルークから基礎パラレルへの展開

プルークボーゲン

パラレルターン(大回り)

編集後記

今年も昨年同様、車山行事Ⅲ、検定会の取材をさせて頂きました。受験者はもちろん、各検定員の方々、役員の方々にも緊張感があり、張り詰めた空気の中、一つ一つ検定種目が行われ、写真を撮っている私もその中に入って行き、皆様方から緊張感を頂き、少しでも良いレポートをと思い２日間過ごすことが出来ました。ただ、残念ではありましたが、２日目は朝からのあいにくの雨で、テクニカル、クラウンプライズテストのスタートの仕事を指示されました。写真を撮ることは出来ませんでしたが、受験者のスタート時の緊張感、検定員の３名と一緒の時間を過ごせたことは、良い経験となりました。その後の結果発表も一緒にその場にいたという気持ちがあり、より良い感動もありました。

今回受験された皆様も本当にお疲れだったと思います。合格された方は一層、次へ向かって頑張って頂き、残念ながら不合格の方も、是非来年チャレンジして頂ければと思います。２日間、検定員をされていた方々、役員の方々、この日までいろいろ準備されて来たと思います。そして、この２日間も夜遅くまで準備等されて大変だったと思います。本当にお疲れ様でした。また、お忙しい中、講評等を書いて頂き感謝致します。ご協力ありがとうございました。お礼申しあげます。

広報委員　佐野　肇